

シェアカフェが新たにスタートします

花のみちの入り口で、新たに「シェアカフェ」の運営をスタートします。
5年間、「きずなの家KaRuTa」とし地域の居場所づくりに取り組んできた場所を
発展的にリニューアルし、これから宝塚市内で飲食事業を始めようとする方々の
チャレンジの場・地域の方の交流の場として、宝塚の活性化とにぎわいを創出する
ことを目的に、宝塚NPOセンターの会員様が「部分運営オーナー」として日替わり
で運営を行います。
新しいチャレンジを行う方々をぜひ応援しに来てください。

DAY モーニングやランチ、スイーツ等を
提供する飲食店(曜日オーナー制)

NIGHT コミュニティサロンや教室など
(月1、単発など)

リニューアル
しました



有料バナー広告を掲載しませんか？

宝塚NPOセンターは宝塚市の「宝塚市みんなのまち
づくり協議会ポータルサイト」を管理・運営しており、
有料バナー広告の掲載主を募集しています！

<https://takarazuka-community.jp/>
掲載料 2,000円/月+税



<ポータルサイトに広告を掲載するメリット>
ターゲットが明確！

宝塚市のまちづくりに関わる人・地域密着情報を求める人が
閲覧するサイトです。企業・団体様の認知度向上が見込めます。
地域貢献への評価アップ！

広告料がサイト運営等の財源になります。
地域貢献意欲の高い企業・団体としての評価がアップします。
お問い合わせは宝塚NPOセンターまで！

新たに入会された皆さん 賛助会員

・石堂 弥華子
・中嶋 亜起

寄付をいただいた皆さん

・特活(川西もみの木
・中山 修
・濱本 佳子

(順不同、敬称略 期間:2020年12月9日～2021年3月10日まで)

宝塚NPOセンターの ビジョン・ミッション・バリュー



一人ひとりがやりたい姿で
社会参加のステージへ立てる未来



人と社会をつなぎ、
それぞれの HAPPY を応援する



一人ひとりのスモールステップに寄り添う
LIFE と WORK の両面から見えた社会課題に向き合う
社会参加の新しい形を提案する

宝塚NPOセンター 会員募集・継続・ご寄付のお願い



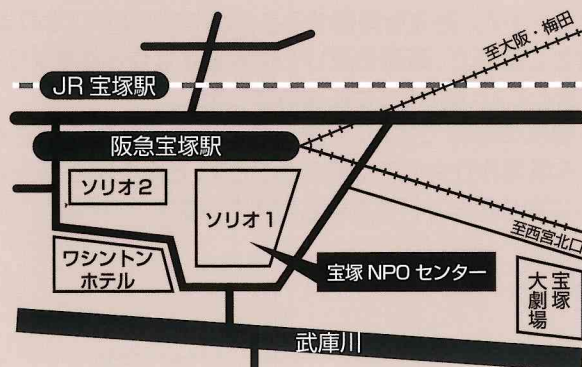
<http://hnpo.net/support/>

※認定 NPO 法人への寄付は税制面で優遇されます。

(認定) 宝塚 NPO センター

〒665-0845
兵庫県 宝塚市 栄町 2-1-1
ソリオ1-3F
TEL: 0797-85-7766 FAX: 0797-85-7799
E-mail: zukanpo@hnpo.net
URL: <http://hnpo.net/>
駐車場: ソリオ1...30分 200円

発行人 中山光子



TAKARAZUKA NPO CENTER NEWS

市民の手で市民活動を支える

106

このニュースの編集、発送はボランティアの
皆さんにご協力いただいています

2021. 3

つながることを、あきらめない
——一年を振り返って——



みなさまの寄付で支えられています
<http://hnpo.net/support/>
認定 NPO 法人に寄付をすると税金が戻ってきます

NPO法人いきいきシニアゼミナール
理事長 篠原 和豊(右)
理事 岡田 義晴(中央)
理事 布施 夕子(左)

就労支援の1年を振り返って

私たち就労支援部門は、それぞれの対象者や対象地域は異なっても、宝塚NPOセンターとしてお互いにカバーし協力し合いながら働くことへの支援をしてきました。
今回、この一年の支援内容を振り返ってみました。

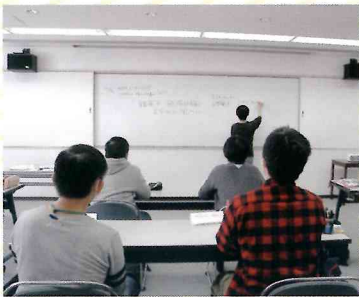
就労支援では基本的に面談とセミナーを行っています。例年ですとごく普通に行われるのがセミナー内でのグループワークを主体とした意見交換です。
しかし、今年度は新型コロナウイルス等感染症拡大防止の為、グループワークが行えない、マイクの受け渡しNGや講師のフェイスシールド着用など3密を避ける必要もありました。
制約もあった反面、オンラインによる相談や、Web 面接練習の取り入れなど私たちも新しい支援のあり方を学び実践することができました。
雇用する側も採用の見送りや職場体験の受け入れ中止などが続き、社会全体として活動が低迷していることを感じました。また、外出したくないと引きこもってしまう方もいましたが、来所しての相談を希望する方、セミナーに出席する方も多くいらっしゃいましたので、皆さんそれぞれの課題が一つ一つ違いそれだけ切実なのかと考えさせられました。



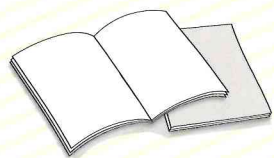
新型コロナウイルスが流行し始める前から、就職氷河期世代への対応が表面化してきていました。「若者」の年齢が39歳から49歳へ引き上げられたことにより40代や主婦層の相談者が増える傾向にありました。主婦層の多くは事務職を希望しており、パソコン講座の需要が益々増えたため、初心者向けに加え新たに経験者向けの講座も開講しました。
これからの支援では、若者向けではもっと我々の情報を届きやすくするためにツイッターへの漫画投稿に加え、さらにSNSを活用する必要があると思いますし、40代以上の方の受け入れ先開拓や、地域のお困りごとに向き合いながらの就労支援にも力を入れていきたいと思っています。
一人ひとりが考えるゴールは異なり、個々に異なる支援の仕方を模索しながら仕事という切り口で社会とつながり、課題に向き合っていきたいと思っています。

TOPICKS

HAPPYジョブトレーニング実施報告



クラウドファンディングにより、多くの方にご支援頂いたおかげで、開催が決定。10月29日(木)よりスタートし、週に1日のプログラムを経て、3月6日(土)に無事に修了式を迎えました。
また、クラウドファンディングのもう1つの目的である、若者のおかれている現状を社会へ周知するため、講演会の開催を検討していましたが、新型コロナウイルスの状況を踏まえ、「宝塚地域若者白書(ハタラクのリアル)」を作成することになりました。「宝塚地域若者白書」は、宝塚NPOセンターで支援した、宝塚市を中心とした方々の就労状況を分析し、統計したものや、ジョブトレに参加した若者のインタビューなど、若者のハタラク実態をリアルにまとめたものです。
今後も若者の就労支援を通じて、彼らがおかれている現状を、多くの方に知って頂き、理解者を増やす活動を来年度も継続していきたいと思っています。

「オンラインツールの活用」を
テーマにしたネットワーク会議を開催

1月20日(水)に「新しい活動のカたちを知ろう!考えてみよう!ネットワーク会議」を開催しました。参加者は18人で、ご所属はNPO法人、自治会、活動グループなど様々。
今回の会議は、オンライン会議システム「Zoom」上で開催しました。ゲストにNPO法人いきいきシニアゼミナールの理事 岡田 義晴さんと花屋敷つつじが丘自治会会長 長榮 浩一さんに取り組み事例をお話いただきました。
岡田さんからは、法人内でオンライン会議システム「Zoom」の導入・活用を進めていったご経験や苦労話などを。長榮さんからは、LINEやYouTube、Skypeなど各種オンラインツールを実際に地域活動に取り入れてみて分かった「強み、弱み」などをお話いただきました。
参加者からは「頑張っておられる様子を聞いて、自分も頑張ろうと勇気をもらった」「自分の課題に合致する内容で、利点と課題が見えてきた」など前向きなご意見をいただきました。
会議の中では、オンライン活用が不安な方への対応、個人情報の共有・管理の問題、サービス契約の問題などの課題が挙がりました。導入の段階を過ぎたあと、次の課題をどのように乗り越えていくか。皆さまの活動支援に取り組む私たちの役割と考え、引き続き取り組んで行きます。

工夫しながら活動を続けたみなさんのレポート

NPO法人いきいきシニアゼミナール

コロナ禍でのオンライン会議の活用



起きたこと

私達のいきいきシニアゼミナールは、宝塚市の高齢者生涯学習機関「いきいき学舎・フレミラ」の卒業生が組織したNPO法人で、会員数が110名、年間23講座を自分達で企画・運営していました。
ところが、新型コロナウイルスの発生、4月の緊急事態宣言によりフレミラ・公民館は全面的に使用禁止となり、楽しみのバス旅行など1学期の講座がすべて停止状態に追い込まれました。

やったこと

そこで、4月末頃から有志でZoomのテレビ会議を利用して、情報交換などを始めていましたが、この技術はコロナ禍の時代には、是非とも必要と考え、7月の理事会に『テレビ会議の導入』を提案し、まず、初心者講習会開催を宝塚NPOセンターに依頼。その後の参加者アンケートが好評で、主催者(ホスト)講習会を開催、ほとんどの役員はテレビ会議が開催できる状態になりました。
これからいよいよ講座企画委員会などをテレビ会議で開催し、全員にパソコンクラブなどでの研修を計画している段階で、コロナ第3波が来て、会員への周知徹底が行き届かず、当初予定のスケジュールが足踏みの状況です。しかし、巣ごもり状態の高齢者はテレビ会議画面でお互いを確認するだけで安心し、今までより仲間意識が高まったという声も聞かれます。今後、コロナ終息後も気軽にテレビ会議で交流できるようになればと考えています。

コミュニティ安倉

Zoom講習会とふれあい文化祭を開催

世代間交流を目的に行っていた「ふれあい運動会」や、高齢者対象の会食会・サロンなどが中止になり、人と人が集まっていた事業実施が困難になりました。市内の会議やイベントがZoomで行われることが多くなったため、集いの場や地域活動者向けにZoom参加者講習会を実施(2回)、各回20名以上の参加がありました。参加者からは、「最初は難しくて自分には無理だと思ったが、やってみると面白かった」「同居以外の家族と顔をみて話ができるようになった」「機会があればZoomのイベントに参加してみたい」などの声がありました。
オンライン活用以外の取り組みとしては、多く人が集まることを避けるため、地域住民の手作り品を持ち寄り展示する「ふれあい文化祭」を実施。「暗いニュースが続く中、楽しいイベントがあり、久しぶりに明るい気持ちになった。」などの声があり、コロナ禍で様々な制限はありますが、工夫すれば楽しい事業を開催できることを実感しました。
今後はZoomをホストとして開催するための講習会を開催したいです。しかし、機器の都合により、オンラインでの参加が難しい場合もあるので、事業の対象や年代によって、オンラインも視野に入れた様々な活動を実施していきたいと考えています。



NPO法人宝塚つ・む・ぐの家

オンラインで家族との面会を

新型コロナウイルスの感染防止策として、ご家族の面会を制限せざるを得ない状況となりました。ご本人にとってもご家族にとっても、会う機会を制限されることは寂しいだけではなく、不安になったり心配したり……健康や精神状態への影響が懸念されました。
ならばオンライン面会を、と計画しましたが、なかなか進んでいなかったところに、ちょうど宝塚NPOセンターから届いたのがチラシ「Zoomの使い方教えます。出張講習します」。すぐにご相談したところ、その日のうちに対応して頂けることになり、Zoomを使ったオンライン面会を実施することができるようになりました。
利用者のご家族が、画面を通して表情を見ながら話をすることができ、「安心した、嬉しい」と喜ばれました。
小さい規模の事業ですが、今後も利用者やご家族の皆さんが安心できる環境作りやケアに繋がることを、どんな時も前向きに、積極的に取り組んで行きたいと考えています。

